

わが家の災害対応ワークショップ in 仙台

～各家庭に必要な災害対応を考えよう！～



**受講者
募集中!!**

こんな方にオススメ!

何をどのように準備していいのかわからない。
家族と防災の話をする機会はなかなかもない。
改めて、家の災害対策について考えたい。

日時

2014年
10月25日(土)
14:30～16:00

定員

20名
※最少催行人数5名

受講料

無料

ご予約・お問い合わせ

☎ 03-3363-7967 (10:00-18:30/土日祝定休)

＼オンライン予約受付中!／



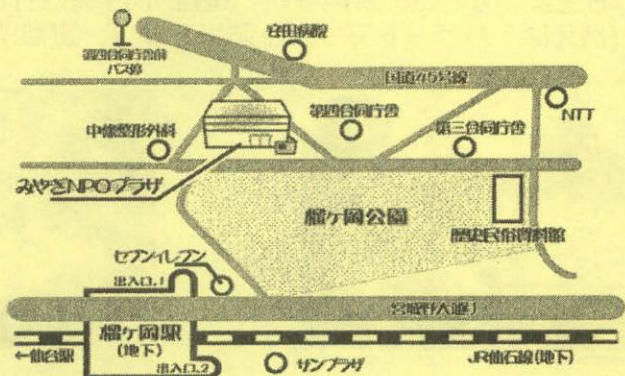
ピースボートセンターいしのまき

検索

場所

みやぎNPOプラザ
第2会議室

住所：宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
電車：JR仙石線榴ヶ岡駅下車 徒歩7分
バス：仙台市営バス、宮城交通
「第四合同庁舎前」下車 徒歩3分



わが家の災害対応ワークショップ

防災に関する情報は、様々な機関から多く提供されています。

しかし、私たちはどれほどそれらの情報を活用できているでしょうか。

「わが家の災害対応ワークショップ」では、家族のライフスタイルや自宅の状況、地域の特性に合わせて、被災した状況をイメージしながら、具体的に「わが家」で役に立つ災害対応や備えを考えます。

内容

誰でも使える「わが家の災害対応ワークブック」（小冊子）を使用しながら、小グループに分かれて各家庭に必要な災害対応や備えを検討します。ワークショップ終了後には、家族で話し合うべき事や備えに必要な内容が分かります。

◆第1部◆身のまわりを知る

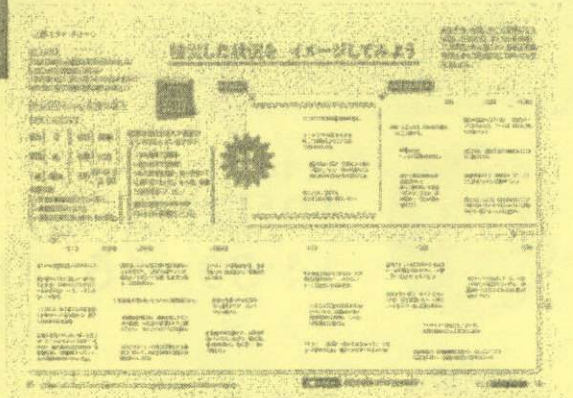
家族の日常生活を確認し、自宅に潜んでいる危険性、地域の特徴など身のまわりを知る。

◆第2部◆イメージする

自分自身または家族が被災した状況を想定し、その後72時間以内に起こるであろう出来事を、「災害イメージシート」を使って具体的にイメージする。

◆第3部◆対応を考える

災害時に必要な基本的な対応方法や知識の情報共有を行う。また、各家庭に必要な備えや対応を考える。家に帰ってから家族で話し合うべきことを確認する。



当日の持ち物

- 筆記用具
- お住まいの地域の避難場所・避難所が掲載されている地図。
(例えば：ハザードマップ、防災マップ、避難所マップ など)



■一般社団法人 ピースボート災害ボランティアセンター(PBV)とは

東日本大震災をはじめ、全国の被災地での支援活動を行う一般社団法人です。東日本大震災では、大きな被害を受けた宮城県石巻市と女川町に事前研修を受けたボランティアを派遣し、多様な支援プロジェクトを展開。日本の若者はもちろん、多国籍の国際ボランティアや企業ボランティアなども積極的に受け入れ、震災後約2年で延べ8万人以上の活動をコーディネートしました。PBVでは、これまでの災害支援の経験を基に防災・減災への取り組みとして「災害ボランティア・トレーニング」や防災教育などを全国で実施しています。